



ワークシート 低学年A-①
すみだ水族館 校外学習
はっけんノート①

がくねん
学年 / クラス

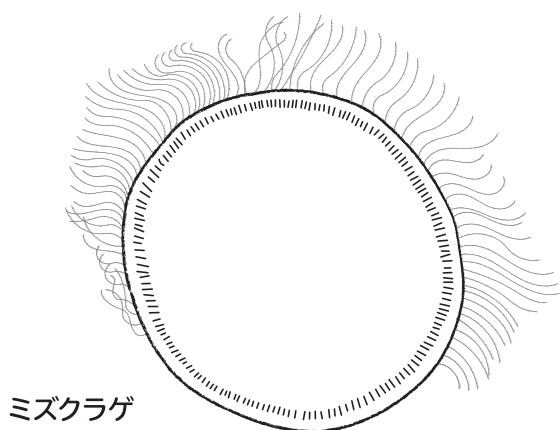
ねん
年

くみ
組

なまえ
名前

1. すみだ水族館を見学して、このプリントの、
4しゅるいのいきものを見つけましょう。
いきものをよく見て、しつもん^{こた}に答えましょう。

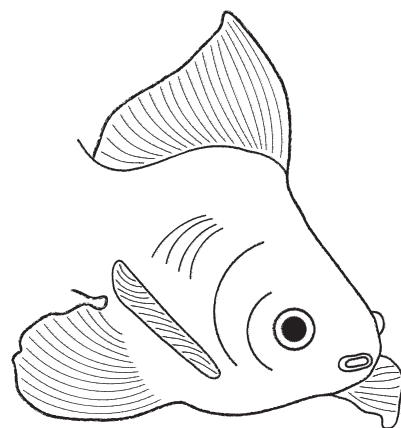
からだのもよう^みを見てみよう



かさ（からだのまるいところ）はどんなもようをしていますか？ よく見て、上の絵に、かきましよう。

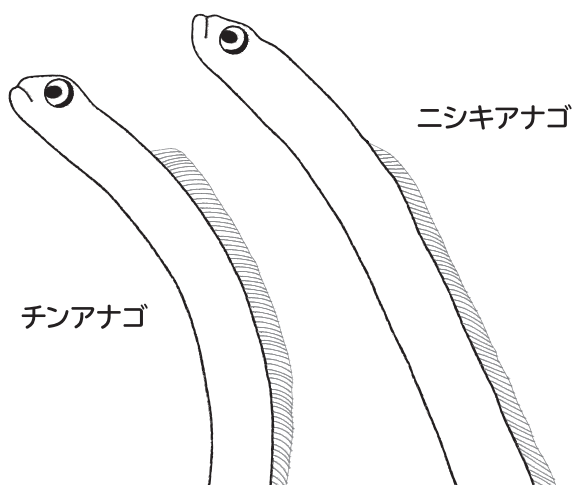
からだのかたちをかんさつしよう

リュウキン
(金魚のなかま)



さかなの「おびれ」はどんなかたちをしていますか？ かたちをよくみて、絵にかきくわえましよう。

もようのちがいを みくらべてみよう



からだのかたちは にているけれど色や もようががちがっていますね。もようや色を 上の絵にかいてみましよう。

りくと水のなかのちがいをみてみよう



マゼランペンギン

りくの上と、水の中では、からだのしせいがどのように ちがうでしょうか？ 水の中にいるときの ペンギンの絵を かきましよう。





ワークシート 低学年A-②
すみだ水族館 校外学習
はっけんノート②

学年 / クラス

年

組

名前

2. すみだ水族館のなかで 自分の すきな いきものを 見つけて 「かんさつ」しましょう。

いろいろな ほうこうから いきものを 見ましょう。

いきものの 絵を
かきましょう。

ヒント

- ・どんな色や、もようを しているかな？
- ・からだのぶぶんは、どんなかたちをしているかな？

れい あたま・あし・ひれ

からだの 大きさは
どれくらいかな？

うごきを しばらく
ずっと 見てみよう。
なにを しているかな？



いきものを観察しよう

低学年

生活科：身近な自然とのふれあい

プログラムのねらい

- ・生き物をじっくり観察し、水の生き物に興味を持つ
- ・観察によって、新しい発見があることに気づく
- ・観察することの面白さを知る。

授業の展開

学習活動と学習内容	ねらい・目的
事前学習 ・すみだ水族館の概要を知る ・どんな生き物がいるのかを知る ・「観察」の概念を伝える。	・すみだ水族館や、水族館で観察できる生き物に興味を持ち、訪問への期待を高める。 ・対象をじっくり見る、という目的を意識する。
水族館訪問 ■ワークシート① ・館内を見て回り、ワークシートに記載された生き物について「観察」し、問いに答える。 ■ワークシート② ・水族館全体で、好きな生き物を1つ選び、①で得た観点を元に、観察する。 観察内容の例： →大きさはどれくらい？ →どんな色や模様をしている？ →違う角度から見て見よう（例：魚の正面） →身体にはどんな部分がある →泳ぐ時には、身体のどこを動かす？ →動きをずっと見てみよう。何をするかな？	・水族館全体を見学し、多様な生き物がいることを実感する。 ・「観察」する時に、漫然と見るのではなく、注目するポイントがあることを知る。 ワークシート①では、具体的な問いかけを通して、絵で描くことで観察の視点に気づき、ワークシート②では、①の学びを生かして興味を持った生き物について観察する。 ・「観察」によって新しい気づきや発見を得て生き物への興味関心を高める。
事後学習 ・児童が観察したことを相互に発表する。 ・他の児童の発表を聞き、良いと思ったところや興味を持ったことを伝え合う。	・気づいたことや、面白く感じたことを伝える。 ・他の児童の発表を聴き、他の児童の感じ方や他の生き物についても関心を抱く。

プログラムのポイント

- ・観察する視点を明確にすることで、生き物を詳細に見る経験をする。
- ・生き物を、時間をかけて観察することで生き物への愛おしさを抱く
- ・相互に発表することで、他の生き物へも興味を広げる

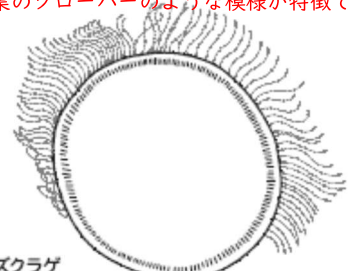
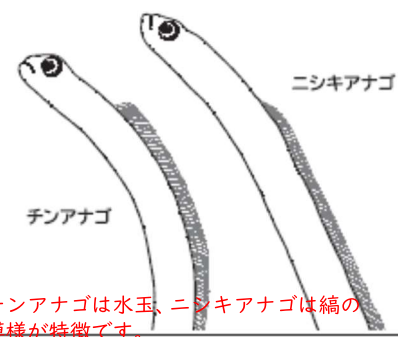


ワークシート 低学年A-①
すみだ水族館 校外学習
はっけんノート①

学年 / クラス 年 組

名前

1. すみだ水族館を見学して、このプリントの、
4しゅるいのいきものを見つけましょう。
いきものをよく見て、しつもん に答えましょう。

からだのもようを見てみよう 四葉のクローバーのような模様が特徴です。  ミズクラゲ かさ(からだのまわりとところ)はどんなもようをしていますか? よく見て、上の絵に、かきましよう。	からだのかたちをかんさつしよう  リュウキン (金魚のなかま) さかなの「おびれ」はどんなかたちをしていますか? かたちをよくみて、絵にかきくわえましよう。
もようのちがいを みくらべてみよう  チンアナゴ ニシキアナゴ チンアナゴは水玉、ニシキアナゴは縞の模様が特徴です。 からだのかたちは にているけれど色や もよう ががちがっていますね。もようや色を 上の絵にかいてみましょう。	りくと水のなかのちがいをみてみよう  マゼランペンギン 陸上と水中では、同じ生き物でも姿勢が違うことに気づくことを目的とした設問です。 上手に描くことではなく、観察の視点を大切にしてください。 水中で泳いでいる時のペンギンは、アタマから背中が滑らかな流線形になっていることや足が目立たずひれのように見えることなどが特徴です。 陸上のかわいらしいイメージと比べて「泳ぐのに適した体の姿勢」をしていることが分かります。 りくの上と、水の中では、からだのしせいがどのように ちがうでしょうか? 水の中にいるときの ペンギンの絵を かきましよう。



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION



海と日本
PROJECT



すみだ水族館
SUMIDA AQUARIUM

※このワークシートの目的は、観察の視点を知ることです。

「よく見る」というのは、具体的にどんなところに注目して見るのか、というヒントを伝えるものです。

ワークシートに正しく記入できたかどうかではなく、児童が自分なりに「よく見て」設問に取り組むことを大切にしてください。



ワークシート 低学年A-②
すみだ水族館 校外学習
はっけんノート②

学年 / クラス	年	組
名前		

2. すみだ水族館のなかで 自分の すきな いきものを 見つけて 「かんさつ」しましょう。

いろいろな ほうこうから いきものを 見ましょう。

いきものの 絵を
かきましょう。

設問①の観察の視点を生かして、模様やかたちなど、
細かいところまで気をつけて描くことを大切にします。

ヒント

- ・どんな色や、もようを しているかな？
- ・からだのぶぶんは、どんなかたちをしているかな？

れい あたま・あし・ひれ

からだの 大きさは
どれくらいかな？

【大きさの表現例】

- アカクラゲ あたまは15cm くらい？触手が2m くらい
- メダカ 10 円玉くらい
- 金魚 ペンと同じくらいの大きさ
- シロワニ 2m50cm
- オットセイ 約 1m50cm
- ウミガメ (水槽横のボードに書いてあります)
- メガネモチノウオ 約 80cm
- ペンギン 約 45cm
- ミズクラゲ 大：約 3cm、小：約 2mm～1cm

うごきを しばらく
ずっと 見てみよう。
なにを しているかな？

【ポイント】

自分の知っている方法で大きさを
表現できることを大切にします。
上記以外にも、自分の身体の部分との比較
(指の長さ、両手を広げたくらい) や
ペットなど身近な動物との比較など、
工夫して表現できるよう促してください。

海の科学館
海の学び
ミュージアム
サポート

日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

海と日本
PROJECT



すみだ水族館
SUMIDA AQUARIUM

※自分の選んだ生き物を観察して、記入するためのシートです。

完成したシートを使って、お互いに発表しあったり、教室に掲示するなどして、活用してください。